

府中市消防団

検索



消防団だより

第64号

発行 府中市消防団
編集 府中市消防団広報委員会
(府中市防災危機管理本部危機対策担当内)
(TEL 042・335・4068)

【府中市消防団員職業別構成割合】
公務員6.3% 農業6.0% 商業1.0% 小売業6.5%
金融保険業2.7% 不動産業3.9% サービス業14.5%
建設業22.9% 製造業6.0% 商社1.2% 飲食店4.3%
造園業2.9% 運輸通信業3.4% 電気ガス業4.3%
学生4.3% その他9.7%

新体制にあたり



府中市消防団長
川崎 好之

本年、4月1日(水)に令和8年度府中市消防団入退団式を執り行い、新体制がスタートしました。年度当初のご多忙の中、高野市長をはじめ多くのご来賓の方々にご臨席を賜り、心より御礼申し上げます。

令和7年度をもちまして退団された27名の方々は、長年にわたり消防団活動に日夜献身的に取り組んでこられましたことに深く感謝申し上げます。

このたび、新たに分団長7名、新入団員20名を任命し、総勢414名の新体制でのスタートとなりました。今年度も府中市消防団が一丸となって府中市の安全と安心のために力を尽くして参りますので、引き続き消防団活動にご理解とご協力をお願いいたします。

本年は、4月20日に三陸沖を震源とするマグニチュード7.7の地震が発生し、また、5月上旬にかけては岩手県大槌町において大規模な林野火災が発生するなど、全国各地で災害が相次ぎ、被災された方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

私たち消防団といたしましても、こうした災害を教訓とし、様々な事態に的確に対応できるよう、日頃から各種訓練や点検に加え、防火・防災意識の啓発活動等に積極的に取り組み、地域の安全・安心を守る責務を果たすべく活動していく所存です。

分団長をはじめ各分団の方々は、消防団員の使命を自覚するとともに、府中市消防団が地域防災の核として市民の信頼と期待に応えられるよう、なお一層、消防団活動の充実と邁進されることを心からお願い申し上げます。



入退団式

第11分団 全国へ挑む

地域の誇りを胸に、さらなる高みへ

全国消防操法大会出場!!

東京都大会優勝から全国へ

第11分団は、令和7年度東京都消防操法大会において優勝を収め、令和8年度に開催される全国消防操法大会への出場が決定しました。前号では優勝時の様子や団員の声をご紹介しましたが、現在は全国大会に向け、さらなる技術向上を目指した訓練に励んでいます。訓練は週数回のペースで行われ、基本動作の確認から一連の操法の精度向上まで、一つ一つの動きを丁寧に積み重ねています。都大会での経験を踏まえ、より迅速かつ正確な放水操作や隊員間の連携強化を重点的に見直し、本番を見据えた実践的な訓練を重ねています。

また、府中消防署との連携のもと、東京都消防訓練所から教官を招き、専門的な指導を受けています。消防操法の基本から細部に至るまで助言をいただくことで、技術の精度向上はもとより、安全管理や動作の確実性についても一層の強化が図られています。団員同士が声を掛け合いながら改善点を共有し、チームとしての完成度を高めているところです。



仕事を終えた後に集合し、夜間訓練に励む団員たち。全国大会に向け、日々の積み重ねを大切にしています。



東京都消防訓練所の教官を招き、動作一つ一つの確認と改善を繰り返す実践的な指導が行われています。

全国大会という大きな舞台に臨むにあたり、第11分団は東京都の代表としての責任と誇りを胸に、日々の訓練に真摯に取り組んでいます。市民の皆様の期待に応えられるよう、全力を尽くしてまいりますので、引き続き温かいご声援を賜りますようお願い申し上げます。

これらの日々の活動は、団員一人ひとりの努力だけでなく、ご家族の理解と協力、そして地域の皆様のご支援があってこそ成り立つものです。仕事や家庭と両立しながら訓練に取り組む団員にとって、周囲の支えは大きな力となっています。

本市は住宅が密集する地域が多く、火災発生時には延焼拡大の危険性が高いことから、迅速かつ的確な初動対応が求められます。消防操法で培われる技術や連携は、こうした地域特性の中での災害対応力の向上にも直結する重要なものです。

●全国消防操法大会日程(10月31日(土))

●開催時刻(午前9:00)

●場所【東京臨海広域防災公園】
消防操法大会は迅速、確実かつ安全に行動するために定められた消防用機械器具の取扱い及び操作の基本について、その技術を競う大会です。全国大会は各都道府県の代表が競う最高峰の大会です。



新入団員教育訓練

令和7年7月1日付で、第8分団に入団いたしました中山忠一と申します。

昨年、堀江分団長から消防団活動についてお話を伺い、地元に貢献したいの思いから入団を決意しました。

4月12日の新入団員研修では、実際の消火活動等の映像を通じて、現場での心得や消防団員としての基礎を学び、規律訓練においては団体行動の基本を丁寧に指導いただきました。

今後は、一日も早く消防団の一員として活動に貢献できるよう努めて参ります。今後とも、先輩方のご指導・ご鞭撻並びに地域の皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第8分団 団員 中山 忠一



府中市合同水防訓練

令和8年6月7日(日)、多摩川河川敷押立地区において合同水防訓練が実施されました。大規模な水害発生を想定した、各種水防工法の訓練を行いました。今回の訓練では、昨年度新設された女性消防団員(小梅隊)が初めて実践的な訓練に参加し、積極的に各工法に取り組みました。経験ある団員と連携しながら現場対応力の向上を図りました。



東京都府中市
消防団広報担当
Instagram



第2分団	奥山 千秋
第3分団	鈴木 駿介
第6分団	池田 隼人
第7分団	樋口 収一
第9分団	福島 龍哉
第10分団	高山 安隆
第10分団	大澤 健人
第11分団	海老澤 頼蔵
第11分団	神永 靖典
第12分団	青島 一貴
第12分団	中田 就梧
第12分団	福原 拓己
第13分団	加藤 礼樹
第13分団	富沢 桂介
第14分団	茂木 喬治
第14分団	三田 晃輝
第15分団	尾形 幸紀
第15分団	吉川 翔瑛
第15分団	阿部 拓斗
第16分団	市川太一朗

令和8年度新入団員

■4年以上8年未満(1名)	大西 明夫
■8年以上12年未満(2名)	大久保和成
	古川 学

12年以上(18名)

第1分団	小林 洋平
第1分団	井上 周亮
第2分団	狩俣 堯慶
第2分団	石坂 明雄
第8分団	佐々木拓也
第9分団	菅原 一修
第10分団	齊藤祐一郎
第10分団	滝島 康裕
第11分団	香川 淳
第12分団	福原 由晃
第12分団	赤岡 大志
第13分団	中村 克彰
第14分団	鈴木 雅浩
第16分団	市川 智哉
第16分団	西川 正隆
第16分団	土屋 勇貴
第17分団	石沢 拓也
第17分団	大西 明夫

令和7年度中
勤続4年以上で
退団された皆さん

退団された分団長ご挨拶



前第16分団長
市川 智哉

スマートフォンに出火報のメールが届かなくなり、早数カ月が経ちました。就寝前に着信音の設定を確認する日々から解放されほっとした気持ちと、もう仲間とポンプ車に乗ることのない寂しさが入り混じっています。結婚を機に府中へ来た当初、知り合いは一人もいませんでした。二十年の消防団活動を終えた今、多くの地域の仲間にも恵まれました。特に分団長としての二年間は、府中を支え活躍する方々と共に汗を流す得難い時間でした。職住の分離が進んだ現在、団員確保は厳しさを増していますが、自分の経験を多くの人に伝え、次代を担う団員の獲得に今後も微力ながら力添えできればと思います。在団中支えていただいた皆様に感謝申し上げます。



前第14分団長
鈴木 雅浩

地元の囃子連の先輩に誘われて、軽い気持ちで入団してからはや二十年、『意外と性に合っているかも?』と思いつつ今まで続けてまいりました。分団長になってからは、出る事・やる事が多く大変でしたが、団員・地元の方々を支えられてなんとか消防団活動を終える事ができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。また、本団・事務局・同年度の分団長と沢山の皆さんと知り合えたのも大きな財産になりました。これからは団員という立場ではありませんが、地元のために微力ながら尽くしていきたいと思います。



前第12分団長
福原 由晃

平成14年より24年間、消防団活動に携わり分団長まで務め上げることが出来ました。これもひとえに地域の皆様をはじめ、消防関係の皆様、諸先輩方、そして家族と多くの皆様に支えて頂いたからこそ大変感謝申し上げます。在団中は、火災現場や訓練、春秋、歳末の夜警など、多くの活動を通じて地域の皆様と交流できたこと、自分達の街は自分達で守るという志を同じくする仲間達と活動が出来た事が私にとってかけがえのない大きな財産となりました。今後は消防団活動で得た知識や経験を活かして地域の防火、防災に微力ながら貢献できればと思っています。長年に渡り大変お世話になりました。



前第10分団長
齊藤 祐一郎

令和8年3月31日、無事に退団させていただきました。1小の運動会から始まり、全国操法大会手伝い、地域の青年活動もあったので期待通りの活躍が出来ないのも理解していただき多くのの方のフォローに大変感謝申し上げます。また前回の操法大会出場分団として、分団長会を指揮し第11分団に技術と魂を預けました。歴史に名を刻む瞬間を見届けたいと思います。この先も多くの団員が参加しやすい、休みやすい、永年動続しやすい環境を関係各位の皆様で引き継いで頂けるよう、お願い申し上げます。25年間ありがとうございました。



前第9分団長
菅原 一修

分団長任期の2年は、必ず起こる、そしていつ起こるか分からない大災害に向けた訓練を自助・共助の精神で地元自治会の方々と密着した訓練を重ね、充実した活動を行うことができました。また、第11分団が消防操法大会で都大会優勝という、歴史的な場面に立ち会うことができた等、非常に内容が濃く充実したものでした。この任期を無事に全うできたのも皆楽を共にした本団の方々をはじめ、分団長会の仲間たち、事務局の防災危機管理本部の皆様、ここに書ききれないほど多くの皆様、最後にいつも笑顔で応援してくれた家族のおかげでここまでやってこれたという感謝の気持ちでいっぱいです。今後は地元の防災リーダーとして今まで以上に地域に根付いた活動を行っていきたいと思っています。



前第2分団長
狩俣 堯慶

このたび令和7年度をもちまして、第2分団を退団することになりました。14年間の在任中には地域の皆さまをはじめ、多くの皆様に多大なご協力をいただき心より感謝申し上げます。私自身は府中の生まれでもなく、たまたま仕事の関係で近くに居ることから、入団のお誘いをいただきました。多くの仲間と共に対応した火災などの災害対応は私の人生の中で、多少なりとは地域に貢献できた事のひとつだと思っています。また、団員やそのご家族ともにおこなった行事などは、かけがえない宝物になりました。未熟な点も多くご迷惑をおかけしましたが、在団中賜りましたご指導とご厚情に深く御礼申し上げます。今後は一市民として消防団を応援して参ります。



前第1分団長
小林 洋平

退団してからまだ月日も経ってないのですが安心感と同時に少し寂しさもあります。生活の中に消防団の活動というのがベースになっていたもので、これからはどう過ごそうか楽しみでもあります。分団長を経験させてもらった2年間は緊張感もありとても充実してました。消防団幹部団員という言葉が私の消防に対する意識を高めた事を覚えていました。実際の火災現場での体験は忘れられないものです。操法大会も思い出の一つで先輩たちからの伝統、規律の第1分団を徹底しました。タイムは遅かったですが、運動会もソフトボール大会も良い思い出です。大変な事もたくさんありましたが振り返ると楽しかったです。これからは家族との時間を大切にしていきたいと思います。

消防団幹部紹介

令和8年4月1日現在

団本部

分団長



副団長
澤井 薫
平成14年4月1日入団
(団歴23年)



副団長
加藤 雅大
平成13年4月1日入団
(団歴25年)



副団長
大貫 剛
平成8年4月1日入団
(団歴30年)



副団長
田中 良和
平成14年4月1日入団
(団歴22年)



副団長
海老澤 拓馬
平成10年4月1日入団
(団歴27年)



副団長
村井 雅一
平成5年4月1日入団
(団歴31年)



副団長
田村 茂
平成16年4月1日入団
(団歴22年)



団長
川崎 好之
平成5年4月1日入団
(団歴31年)



第9分団長
岡部 貴紀
平成19年4月1日入団
(団歴19年)



第8分団長
堀江 将司
平成17年4月1日入団
(団歴21年)



第7分団長
金子 謙輔
平成20年4月1日入団
(団歴18年)



第6分団長
田中 博幸
平成15年4月1日入団
(団歴23年)



第5分団長
内海 雄治
平成17年10月1日入団
(団歴20年)



第4分団長
河内 辰徳
平成23年7月1日入団
(団歴14年)



第3分団長
岩波 伸和
平成15年4月1日入団
(団歴23年)



第2分団長
山口 正和
平成26年4月1日入団
(団歴12年)



第1分団長
小林 誠
平成17年4月1日入団
(団歴21年)



第18分団長
上野 恒章
平成15年4月1日入団
(団歴23年)



第17分団長
齊藤 敬
平成8年4月1日入団
(団歴30年)



第16分団長
小松原 哲雄
平成16年4月1日入団
(団歴22年)



第15分団長
山下 力也
平成18年4月1日入団
(団歴20年)



第14分団長
石川 将人
平成20年4月1日入団
(団歴18年)



第13分団長
宮崎 徹
平成18年4月1日入団
(団歴20年)



第12分団長
石原 昌巳
平成16年4月1日入団
(団歴22年)



第11分団長
夏目 雅樹
平成20年4月1日入団
(団歴18年)



第10分団長
伊藤 盛敏
平成19年4月1日入団
(団歴19年)

編集後記



西部ブロック長
第15分団
千葉 誠

今回の「消防団だより第64号」はいかがでしたでしょうか？近年の気候変動による気温上昇の中でも、汗だくになりながら一生懸命に訓練を繰り返す団員の熱量は今回の記事からも伝わった事と思います！
今後もしつ降りかかるか予測の出来ない「何か」に備え日々精進して参ります。
皆様にも、おやすみ前の火の元確認をお願い致しまして、今回はお別れです。次回の第65号もお楽しみに！

広報委員会名簿

- 会長 川崎 好之
- 副会長 田中 良和
- 広報委員長 大貫 剛
- 広報委員 依田 和也
- 東部ブロック長 高木 稔
- 中部ブロック長 猿渡 惇
- 西部ブロック長 千葉 誠
- 本団付広報委員 湯川 真紀、清水 香菜
- 東部広報委員 田中 佑樹、安井 健浩、大久保 守
- 中部広報委員 山田 奉幸、吉武 和也
- 西部広報委員 山田 勝太、上地 翔、村木 康真、加藤 聖也、齋藤 拓海
- 第18分団 角 真一
- 第16分団 小澤 慶晃
- 第13分団 高橋 由
- 第11分団 齋藤 拓海
- 第10分団 村木 康真
- 第9分団 加藤 聖也
- 第8分団 上地 翔
- 第7分団 山田 勝太